

光熱費タダ！



完成時のイメージ図です。実際と異なる場合もあります。

太陽光発電と雨水利用のハイテク・ホール

ナン トカ かんげん

南都下管絃ホール・完成近し



お詫び

音楽愛好家の皆様のご愛顧に感謝しております。このたび弊社発行のポケットスコアのなかで記号と綴りが間違っているものがあることを指摘いただきました（下図は一例です）。

調査の結果、これらの誤記は七、八年前からあり、会社の体質に問題がありました。

再発防止に全力を尽くすと共に、間違いのあるスコアを購入された方には訂正版にキーキを添えて交換させていただくことにします。

Fl. 

Ob. *peco cresc.*

Cl. *peco cresc.*

(B) *peco cresc.*

Peco a poco stringendo al



ポケットスコア

Pocket scores

不二楽譜チェーン店でお買い求めいただける
商品のご紹介です

Artist of the Month

永田町管弦楽団のまとめ役

中川泥直さん



中川泥直さんは永田町管弦楽団内に組織された永田町室内管弦楽団（通称永田チエンバー）の補佐役として永田町管弦楽団全体とのスケジュール調整や人事に関わってられる。中川さんの一声で音が変わるともいわれるほど、陰なる力は大きい。

——このところ八面六臂のご活躍ですね。

中川 ありがとうございます。でも私は演奏者じゃないからね、本当に大切な人たちに頑張ってもらえるようにするのが私の役目。

——前は「チエンバー」の方にも所属してられましたね。

中川 だから、彼らの事情はよくつかんでいるつもりです。私はもう戻る機会はないかも知れないけれど。

（実は、暴力団や女性スキャンダルで辞任しているのだ。一瞬中川さんの顔が曇るようだったので、あわてて次の質問へ）

——今、永田町管弦楽団で一番大切なことは何だとお考えですか。

中川 なんととっても、仲良くやることで

す。楽しく仕事が出来ることが効率アップになります。そのためには、同じ考え方の人たちが集まった方がいい。議論するよりツーカーで通れば時間もかからない。

——でも、本当に実力がある人が「チェンバー」に入れないのではないかという心配はありませんか。

中川 実力は「チェンバー」に入ってからでも磨けます。それ以前に、仲良くやれねばどうしようもないでしょう。

——しかし、マスコミが注視する本番で大きなミスをする人が続出しています。このままでもいいのでしょうか。

中川 騒ぎすぎですよ。仲間内ではあの程度のことは日常茶飯事。そういう人たちを集めた団体だから、仕方ない。でもね、「チェ

ンバー」のメンバーを入れ替えるにしても、いい人がいますか？常任指揮者で団長の安倍さんは結構人見知りをする。仲良しクラブといわれるのも、あの人はフィロソフィーが違う人に向かっていく腕力がないからですよ。若いからだけでなく、お坊ちゃまだから。

さらに、論理の組み立てがまずいということ、本人もよくわかってないじゃないかと思うことがあります。

——それでも、中川さんは指揮者に絶対服従すべし、といったら、リハーサル時の雑音が見事になりました。

中川 お互い永田町管弦楽団の一員だから、彼らの評判が落ちるとこっちも困る。持ちつ持たれつですよ。もつとも、あの発言は

逆効果も生みましたが。

—— 今後のご予定は？

中川 ブリテンの「鎮魂交響曲」を取り上げたいというのが団長の意向です。これは、一九四〇年、日本国紀元二六〇〇年を記念して当時の政府が委嘱したものです。今の時代に、あえてこれを取り上げたいというのは、安倍さんらしいけれど、いろいろ抵抗もあるでしょう。私自身もそう興味はないけれど、皆のためになるのなら尽力します。

オケの運営というのは、きれい事じゃ出来ません。私はこれからも泥をかぶる仕事をやっていくでしょう。

人当たりのよい中川さん、という印象だった

が、政治家は人と接するのが仕事。私のような凡人には、海千山千の人も愚直な人も皆同じに感じてしまう。

いえることは、浮き沈みの多い人だけに、今は自分を犠牲にしているようでも、次のステップに向かって何を考えているか分からないこと。何か圧倒されたまま帰った。



之も楽しむ者に如かず

古田秀和

Hidekazu FURUTA



今月のテーマ

感情移入とその限界

ここ二、三日の間にずいぶん日が長くなったようだ。日が落ちて、まだ陽のぬくもりの残る広場に少年たちの声が飛び交っている。そんな時、暗くなったのに気がつかないくらい夢中になって遊んでいた幼い日のある瞬間の記憶がふとよみがえる。どこだったか、相手はだれで、何をしていたか——それは、ただ漠然とした空気感のよ

うな想い出なのだけれど——そこにはじけていたのは無垢な愉悅感。

今、ここにいる子供たちに向かって、君たちのしていることは、まさに弾むような感情の表現そのものだと言ったところで、彼らはきょとんとしているに違いない。「弾むような感情の表現そのもの」とはどんなことかつかめるようになるのは、

それしか体験できない年齢から何年もたち、憧れや失意とか別離など、いろいろな感情を体験できるようになつてからだ。

もしかしたら、そうなつた頃は「弾むような感情の表現そのもの」をかつてのように体験することとは出来なくなつてゐるかも知れない。それでも、以前の自分の気持ちを思い出し、過去の自分になりきることでは出来る。

音楽作品には作曲家によつていろいろな感情が込められている。演奏家は譜面から作曲者の心の動きをたどり、作曲者に代わり音で表現しようと試みる。演奏家が推察できる作曲者の心の動きは演奏家が体験した自身の心の動きの延長上にあり、それを越えた表現は——少なくとも意図的には——出来ないのだ。若い新進の演奏家に、大作曲家の老年期の悟りきつたような諦観と内省に満ちた作品は向かないし、期待されることもない。

ベートーヴェンの《弦楽四重奏曲第16番へ長調》作品一三五は、最後の弦楽四重奏曲であり、「重大

な決心」とタイトルが付いている終楽章には神秘的な謎がある。ベートーヴェンの後期の作品に共通する深遠な響きで重々しく始まるが、一転、えもいわれぬ軽みのある流れに変わつて終わる。これを悟りきつた解脱の境地とするか、気力の衰えととるか、まさに演奏者の力量、いや人生経験が問われるのだ。

最近話題のアベバン・モドキ四重奏団の演奏で聴いてみた。リーダーの岸晋三以下40代を主とした若いメンバーからなる団体である。若いと言っても、この四重奏団の前身をさかのばれば、きら星のような日本楽壇の重鎮にたどり着く。ドイツ音楽の本流を担ってきたと自負する系譜だ。

期待を持つて聴いたが、問題の終楽章、私には彼らにはこの曲はまだ早かつたかという印象が強い。意気込みがあつても人生経験の不足は家系では補えない。孫であるからといって、祖父の心の動きをよりつかめるとは限らないのだ。芸術の道に王道なしである。

新譜 月評

Apr 2007

4.

交響曲 宇野咆吼

室内楽曲 諸君幸生

ビデオ 朝墓公三

録音評 三井住友

4月号新譜月評

■モーツァルト：交響曲 40 番

太田昭彦指揮

■バッハ：《音楽の捧げ物》

アンサンブル石原

■チャイコフスキー：バレエ《クルミ割り人形》

全曲

安倍三振指揮

新譜月評

交響曲

宇野咆吼

新譜月評 The Record Keijutsu 交響曲

■モーツァルト…交響曲40番

太田昭彦指揮千日谷管
弦楽団

永田町管弦楽団のよいパートナーとして曲目協定、チケット販売、楽員サポートなどを行っている千日谷管弦楽団の自

主CDである。今回就任した常任指揮者太田昭彦のデビュー作でもある。

この録音を開始する寸前に思わぬハプニングがあった。練習場に行っているJR信濃町駅に近い千日谷会館で盗難騒ぎがあったのだ。盗まれたのはチューバ、トランペットなど金管楽器にティンパニ。フルートも盗まれた。幸い、修理に出していたホルンは難をまぬがれたが、チェロのエンドピンまで持って行かれた。エンドピン一本より楽器本体の方がはるかに高価だろうに、このおかしな盗み方から、犯人は最近全国に出没する金属泥棒

に違いないというのが警察の結論である。

CD収録までに楽器を買い直すには予算もスケジュールも都合がつかないとあつて、ある楽器だけで演奏できる曲に変更、それがこのCDである。チェロはエンドピンがないので膝に挟んで弾く、いわゆる古楽器スタイルである。

演奏は悪条件にもかかわらず、予想を上回る出来。これまで永田町管弦楽団の補完的存在という認識しかなく、体質的問題といえるまともりの悪さに辟易していた評者にとって、この演奏はまったく新鮮であつた。アンサンブルの技術に関

していえば数段上ではあるまいか。

このオケは音楽家としてのレベルの高い集団であることは確かであるが、限られた聴衆のためのオケであり、常にどこかのオケの補完的役割としてやっていくほかはない宿命を持っている。

決してトップに立てないことはわかっていても夢と信念は持ちたい、常に襲う金と権力の誘いに自らを見失うのではないだろうかという不安。

行く末はいずれ、モーツァルトを聴きながら疾走と迷走のモザイクが浮かんできた。

録音評 関連団体の施設である、北海道池田講堂で収録。残響短め、中央によくまとまる。終楽章に近づくと徐々に右寄りになるのが惜しい。

新譜月評

室内楽曲

諸君幸生

新譜月評 The Record Keijutsu 室内楽曲

■ バッハ…《音楽の捧げ物》



アンサンブル石原

いわゆる、「石原軍団」による一族の演奏である。演奏者は五人とされているが、はたして表記してあるメンバーのみで演

奏されているかは疑わしい。

というのは、ヴァイオリンとヴィオラの持ち替え演奏ができるメンバーがいたとしても、ヴァイオリンが3名でやっているとしたか聞かない部分がある。メンバーの中にはフルートとヴァイオリンを持ち替えできる人がいないので、表向きのメンバーと実際は違うようだ。

アンサンブルの長である、沈太郎氏によれば、それぞれ「余人に代え難い」メンバーだという。しかし、読者の中にその名を知っている人がどれほどいるか、はなはだ疑問だ。真に優秀ならば、とっ

くに知られているのが当たり前。わざわざ「余人に代え難い」と言わなければならぬのは、そこまで行かないからだ。身びいきで過剰な宣伝といわざるを得ない。

J・S・バッハを頂点とする才能にあふれたバッハ一族は有名である。大バッハは息子たちの優れた教育者でもあったが、彼らの音楽はかなり違う。

大バッハはそれぞれの道を歩む息子たちを後押しするどころか、自身の音楽は時代遅れと片付けられそうになっていったのである。親バカが出る幕はなかった。

「録音評」 多量の機材をヨットに積み、カリブ海のある島を借り切って二週間にわたり収録したとある。録音風景の写真も添えられているが、バランスが悪くアマチュア録音の域を出ない。

今日なおカール・フィリップ・エマヌエル・バッハやヨハン・クリスティアン・バッハたちの作品が音楽史に残っているのは、知名度ゆえではあるまい。

この演奏については、水準に達してはいるが、前に述べたように真偽が疑わしい点があることと、仮に一部は彼らの手による物であったとしても、このような背景を考慮すると、下手に誉めることは彼ら自身のためにならない。よって評価は差し控える。

新譜
月評

ビデオ

朝墓公三

新譜月評 The Record Keijutsu ビデオ

■チャイコフスキー「バレエ」
「くり人形」全曲



永田町バレエ団安倍三
振指揮永田町管弦楽団
野口聖子（語り）

このディスクは、昨年の12月に発売されるはずだったが、諸般の事情で遅れていたもの。題材がクリスマスにちなんだものであるだけに、タイミングを逸していて損をしている。

ストーリーは、ある邸宅に住む少女マリーはクリスマスにクルミを割る人形をもらうが、やんちゃな兄たちが壊してしまう。しかしマリーはこれをいたわる。真夜中にネズミたちが現れ、オモチャとの戦争になるが、マリーの加勢で勝つ。すると、クルミ割り人形は美しい王子になり、マリーをおとぎの国へ誘う、こん

な童話だ。

子供にもわかりやすいよう、語りが入っていて、担当するのは永田町管弦楽団の野口聖子。トラブルの原因は。まず、録音時に彼女はまだ楽団に復帰していなかったこと。さらに、彼女がアドリブで入れた、

「機械から生まれたクルミ割り人形も、マリーの助けにより人間になり、美しい国の王子様になりました」

という部分。この前半の部分が余計だと、プロデュースした柳沢吐夫氏を始めとする年配の議員や彼女のスタンダードプレーを快く思わない宿敵の縁藻ゆかり氏らが反発、一方、野口は夫婦別姓論の最先鋒で

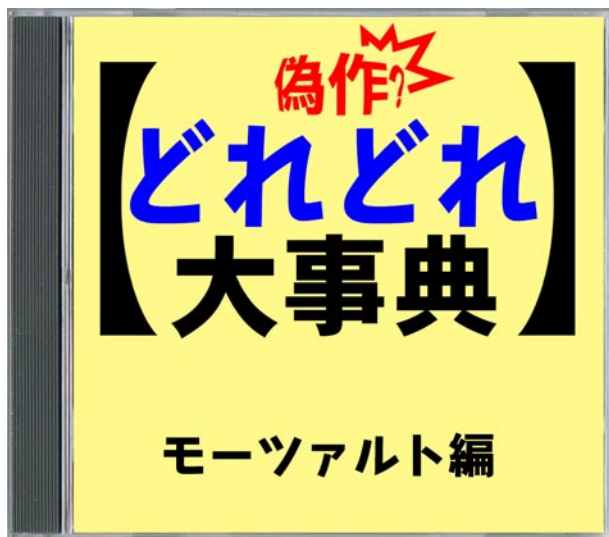
もあり、論争は女性の人権問題にまで発展した。

そのような背景の影響があつてか、バレエも管弦楽もまとまりを欠くが、指揮の安倍三振がなんとかしのぐ。

問題のアドリブを入れた野口は安倍が誘って再入団させた団員であり、柳沢を切るとすると、この企画をした自身の責任が問われる。ジレンマに陥った。

結局、少々の破綻があつても止まらなければ何とかなるだろうと思つたのだろうか、何とも綱渡りので聴衆をなめているとしかいえない。中には支持する人もいるだろうが、このオーケストラにはお粗末。人気低迷は続きそうだ。

当選発表



どれどれ大事典・モーツァルト編の偽作探しには多数の応募をいただましてありがとうございました。

正解は次の通りです。

トラック 4： 交響曲 37 番第 2 楽章

トラック 12： 管楽器のための協奏交響曲第一楽章

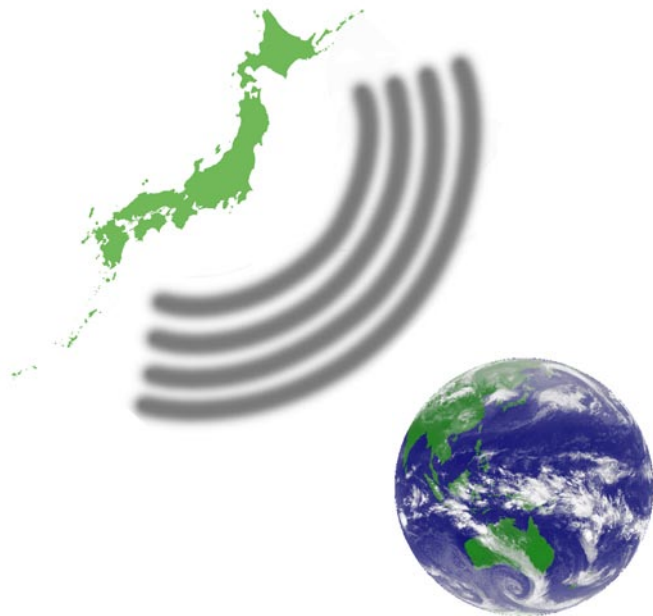
抽選で 5 名の方に「レコード軽術」誌 5 年分図書券を贈呈しました。

次回（ショスタコビッチ）からは新企画登場。

あなたの作った偽作をのせてみませんか？

どしどし応募ください。関西 C D（株）

つぎは文化「省」



防衛庁は省に昇格しました。しかし、兵器だけでは国を守れません。

文化がなくなれば、国家は消滅します。私たちの文化を育てましょう。

また、国際社会において、お互いの文化を知りましょう。相互理解の第一歩です。それが紛争を防ぎ、お互いの国を守るのです。

私たちは文化省初代大臣にふさわしい人を捜しています。

from P

聞け、Pの声

格差解消協会

日本プレイング・プアー演奏家協会

日本ライティング・プアー評論家協会

日本リスニング・プアー音楽愛好家協会

日本プアー・パブリッシング音楽出版協会

日本プアー・プロデュース興業社協会



一回やってみただけなので、二回目の製作とテストをして、結果がよかったら記事にしてください。

編集部 製作過程も読者のためになります。二回目の製作もぜひ見せてください。

江川 では、さっそくはじめましょう。そのスピーカを上向けに倒し、ユニットを取り外します。一番口径の大きいだけで

編集部 画期的な方法でスピーカの音質が向上できたというお電話をいただきました、おじやました。

江川 実は、まだ

いいです。

編集部 こうですか。

江川 そうそう、スピーカボックスの中が見えたら、中の吸音材をすべて取り除きます。あ、この機種は余り入っていませんね。

編集部 取り除きましたか。

江川 つぎは裏の物置に行ってワラをとってきてください。

編集部 とつてきましたが、これは何に使うんですか？

江川 これをボックスの中に入れます。ワラはこのままでも高性能の吸音材ですが、これにバイオ処理をすることにより、驚くほどの効果が出ます。



編集部 オーディオ

にもバイオ・テクノ
ロジー導入ですか。

さすが先生、すばらしい！で、どうする
んですか？

江川 その鍋に蒸
した大豆が入ってい
ますから、それをワラの上にかけてます。

編集部 え、そんなことをしたら、大きな
音を出すたびに豆が振動してガラガラ音を
立てませんか？

江川 実は、ここまででは第一段階、これか
ら仕込みを経なければよい音になりません。
スピーカをそのままの姿勢で隣の部屋に運
んでください。そこはヒータを利かせて室



温を38℃に保っています。仕込みには丸一
日かかりますから、また明日来てください。

(翌日)

江川 仕込みは大成功、
ごらんなさい、これは
ファイバー・スコープを
使って見た中のスピー

カ・ユニットの周辺です。ほら、豆が粘液
に囲まれているでしょう？これが豆のガラ
ガラする振動を防ぐと共に、適度な音響負
荷となつてよい音を出すのです。

編集部 聴いてみましょう！

江川 なんだ、これは、失敗です。スピー
カのコイルが粘着してしまった。残念。申
し訳ないけれど「成功した」なんて記事は
書かないで下さいな。



コンサート通いが便利に進化

カードシステム

「シンカ」登場



遅刻して休憩時間のあとから聴いても、演奏がつまらなくて休憩時間で退出しても、聴いた分だけ差し引かれ、残りはほかのコンサートを聴くためにチャージされます。

演奏する側も「真価」が問われるシステムです。

首都圏の主要大ホールに「シンカ」席を契約。空席によつてはさらによい席で聴けます。

室内楽には小ホール用の「リズム」を



地球に優しい

Bio (バイオ) CD登場

今晚のエビはバッハ味？



CDの素材をこれまでの石油精製物から菜種油を原料とした素材に切り替えました。二酸化炭素の増加につながらないばかりか、200℃で熱すると元に戻るので、揚げ物に使って二度楽しめます。

CD引換券

不要なCDをお持ちくだされば天ぷら油に精製します
オントモグループ **オントモ燃処理**株式会社

有効期限 2007.4.1

もう一杯、音楽もアンコール

「レコ軽」発祥の地「グレル」

創立記念日特別イベント



TEL 167-0054
杉並区松庵3-37-24
(日曜休み)

お世話になっているサティ
魚店のご主人の特別講座

梨の形の作り方

10:00 ~ 12:00	素材と道具
13:00 ~ 15:00	実技
15:00 ~ 18:00	仕込み
18:00 ~	試食

特製ドリンク付き



名曲・名演を発掘できる店

MITTENWALD

CD高価買取

 ミッテンヴァルト

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~mittenwald/>



まずは

お見積もりを!!

連絡先
家内工業

編集後記

この半年間はやや軽めの話題がいろいろあり、今号は作りやすい部類に入ります。一方では、憲法や教育の問題など、重いテーマが消化できませんでした。そんなに世の中は明るくないのに、この程度とは、力量不足かもしれません。

バックナンバーのハイライト、真面目なエッセイなどを
http://members2.jcom.home.ne.jp/s_yanagawa/
で見ることができます。

レコード軽術 '07 年春号（通巻第 39 号）

2007.4.1 第 1 刷発行

編集発行人 柳川誠介

〒195-0054 町田市三輪町 539-119

TEL&FAX (044) 989-8510

s_yanagawa@jcom.home.ne.jp

PDF01426@nifty.ne.jp

印刷・製本 家内工業

bwv140robota@jcom.home.ne.jp

